

(別添) 受賞者の略歴及び主な功績

(令和6年11月21日現在)

氏名	大石 正博 (おおいし まさひろ)	
生年月日	昭和36年9月3日 (63歳)	
現勤務先	鳥取市立病院 院長	
勤務先住所	鳥取市的場 1-1	
略歴	<p><b>【学歴】</b> 昭和62年3月 岡山大学医学部医学科 卒業</p> <p><b>【職歴】</b> 昭和62年6月～昭和62年7月 岡山大学医学部附属病院 昭和62年8月～平成元年7月 国立岩国病院 (岩国市) 平成元年8月～平成4年7月 医療法人社団恵誠会大西病院 (玉野市) 平成4年8月～平成7年7月 公益財団法人弘仁会玉島病院 (倉敷市) 平成7年8月～平成8年10月 大田記念病院 (福山市) 平成8年11月～平成9年8月 岡山大学医学部附属病院 平成9年9月～平成9年10月 鳥取市立病院 平成9年11月～平成11年3月 岡山大学医学部附属病院 平成11年4月～平成30年3月 鳥取市立病院 外科 平成30年4月～令和2年3月 鳥取市立病院 副院長 令和2年4月～現在 鳥取市立病院 院長</p>	
主な功績	<p>○昭和62年3月に岡山大学医学部を卒業後、岡山県、広島県、山口県内の病院勤務を経て、平成11年4月に救急指定病院である鳥取市立病院に赴任。消化器疾患を中心に外科医として活躍し、救急医療を主とする急性期医療に取り組み、昼夜を問わず疾病の治療と地域住民の健康管理に尽力した。</p> <p>○主に二次救急医療に携わる中で、一次救急医療機関 (東部医師会休日夜間急患診療所) との連携を図り、後方支援病院としての役割を果たしている。同病院では外科医の中心的立場として、内科系・外科系2名による当直体制を確立し、三次救急医療機関 (県立中央病院) とともに、東部医療圏の救急医療体制の確保に積極的に取り組んでいる。</p> <p>&lt;年間受入救急患者数 (鳥取市立病院) &gt; R3年度: 6,418人 (ウォークイン: 4,154人、救急車2,264人) R4年度: 7,532人 (ウォークイン: 5,111人、救急車2,421人) R5年度: 8,000人 (ウォークイン: 5,000人、救急車3,000人)</p> <p>○平成30年4月には副院長に就任し、専門医として多くの手術を手がける傍ら、岡山大学との連携強化を図り、救急患者の対応に専従する「救急科」の新設に携わり、東部医療圏の救急医療体制の強化に尽力した。</p> <p>○令和2年4月には院長に就任し、自ら率先して宿日直や救急当番に従事するとともに、後進の育成に取組み、強いリーダーシップの元、院内の救急医療体制を牽引している。</p> <p>○新型コロナ対応においては、自ら専門会議を招集して陣頭指揮を執り、診療科の枠を超えた救急体制を早く構築したほか、入院治療が必要な中等症患者の受入れに当たり、新型コロナ専用病棟を設けて積極的に入院対応を行い、圏域における感染拡大防止と救急医療提供体制の確保に大きく貢献した。</p>	

(令和6年11月21日現在)

氏名	小田 浩一 (おだ こういち)	
生年月日	昭和37年10月24日 (62歳)	
現勤務先	小田歯科医院 院長	
勤務先住所	西伯郡伯耆町押口 86-2	
略歴	<p><b>【学歴】</b> 昭和62年3月 平成2年3月</p> <p><b>【職歴】</b> 平成2年4月～平成3年3月 平成3年4月～平成3年12月 平成4年7月～現在 平成9年4月～現在</p> <p><b>【役員歴】</b> 平成21年4月～平成27年5月 平成27年6月～令和元年5月 令和元年6月～現在</p> <p>平成21年4月～令和元年5月 令和元年6月～現在</p> <p>平成17年4月～現在 平成23年7月～平成26年5月 平成26年5月～令和4年5月 令和5年8月～現在</p>	<p>日本大学松戸歯学部 卒業 日本大学松戸歯学部補綴学第一講座 修了</p> <p>若松歯科医院 (埼玉県三郷市) 出井歯科医院 (岡山県瀬戸内市) 小田歯科医院 院長 西部歯科保健センター 休日救急歯科診療担当医</p> <p>鳥取県西部歯科医師会 理事 鳥取県西部歯科医師会 常務理事 鳥取県西部歯科医師会 専務理事</p> <p>鳥取県歯科医師会 理事 鳥取県歯科医師会 常務理事</p> <p>鳥取県西部歯科保健センター運営委員会 委員 鳥取県西部地域歯科保健推進協議会 委員 鳥取県西部地域歯科保健推進協議会 会長 鳥取県西部保健医療圏地域保健医療協議会 委員</p>
主な功績	<p>○昭和62年3月に日本大学松戸歯学部を卒業後、同大学で研究生として研鑽を積み、その後、埼玉県、岡山県内の歯科医院勤務を経て、平成4年7月に小田歯科医院を開院。地域歯科医療の担い手として、大きな役割を果たしている。</p> <p>○平成9年4月より、西部歯科医師会が運営する西部歯科保健センター(米子市)の休日救急歯科診療担当医に加わり、現在まで27年間にわたり、日曜、祝日、盆、年末年始における歯科領域の痛み等に対して応急処置を行っている。</p> <p>&lt;年間受入救急患者数(西部歯科保健センター)&gt; R3年度:669人(診療日数73日、1日平均9.2人) R4年度:648人(診療日数73日、1日平均8.9人) R5年度:686人(診療日数74日、1日平均9.3人)</p> <p>○また、平成17年4月には鳥取県西部歯科保健センター運営委員会の委員に就任し、当該センターの運営に携わり、休日急患歯科診療を円滑に実施するため、献身的に尽力した。</p> <p>○平成26年5月には鳥取県西部地域歯科保健推進協議会の会長に就任し、会長として8年間、歯科保健衛生の総合的な推進に関係者と一丸となって取り組み、西部地域の医療振興、住民の福祉に尽力した。</p>	

(令和6年11月21日現在)

氏名	池田 実央 (いけだ みお)	
生年月日	昭和39年7月25日 (60歳)	
現勤務先	池田歯科医院 院長	
勤務先住所	鳥取市湖山町西2-110	
略歴	<p><b>【学歴】</b> 平成2年3月</p> <p><b>【職歴】</b> 平成2年4月～平成6年5月 平成6年6月～平成6年10月 平成6年12月～現在 平成8年7月～現在</p> <p><b>【役員歴】</b> 平成19年4月～平成21年3月 平成21年4月～平成23年3月 平成23年4月～令和元年6月 令和元年7月～現在</p> <p>平成23年4月～令和元年5月 平成元年6月～現在</p>	<p>九州歯科大学 卒業</p> <p>医療法人健慈会武内歯科医院 (大分県日田市) 医療法人社団吉田歯科医院 (鳥取市) 池田歯科医院 院長 東部休日急患歯科診療所 休日救急歯科診療担当医</p> <p>鳥取県東部歯科医師会 理事 鳥取県東部歯科医師会 常務理事 鳥取県東部歯科医師会 専務理事 鳥取県東部歯科医師会 副会長</p> <p>鳥取県歯科医師会 理事 鳥取県歯科医師会 常務理事</p>
主な功績	<p>○平成2年3月に九州歯科大学を卒業後、大分県、鳥取市内の歯科医院勤務を経て、平成6年12月に池田歯科医院を開院。地域歯科医療の担い手として、大きな役割を果たしている。</p> <p>○平成8年7月より、東部歯科医師会が運営する休日急患歯科診療所 (鳥取市) の休日救急歯科診療担当医に加わり、現在まで28年間にわたり、日曜、祝日、盆、年末年始における歯科領域の痛み等に対して応急処置を行っている。</p> <p>&lt;年間受入救急患者数 (休日急患歯科診療所) &gt; R3年度: 573人 (診療日数71日、1日平均7.8人) R4年度: 594人 (診療日数73日、1日平均8.1人) R5年度: 589人 (診療日数74日、1日平均8.0人)</p> <p>○また、令和元年7月には東部歯科医師会の副会長に就任し、当該診療所の運営に携わり、休日急患歯科診療を円滑に運営するため、献身的に尽力した。</p> <p>○令和6年6月には、大規模災害時等に歯科関係団体同士が有機的に連携して被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を迅速に効率よく行うことを目的とする鳥取県災害歯科保健医療連絡協議会の設立に当たり、中心的な役割を担い、緊急時における歯科医療体制の構築に取り組んでいる。</p>	